

2019年度 教員免許更新講習 選択必修講習(通学講習)

| 講習の名称 | 講習の期間 | 対象 | 取り扱う事項 | 講習の概要 | 担当講師 | 時間数 | 認定番号 |
|---------------------------------------|-----------|------------------------------|---|--|--------------------|-----|-------------------|
| 【選択必修】主体的・対話的で深い学びを実現するアクティブ・ラーニングの工夫 | 平成31年6月9日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 | アクティブ・ラーニングによる主体的・対話的で深い学びの実現が期待されている。本講習では、①アクティブ・ラーニングの意義、②アクティブ・ラーニングを実現する授業改善の視点、③アクティブ・ラーニングの実践と評価について、講義及び受講者の意見交換などにより学びを深める。 | 廣嶋 憲一郎(大学院教職研究科教授) | 6時間 | 平31-90004-300058号 |
| 【選択必修】道德教育の転換を理解する | 平成31年6月9日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 道德教育 | 平成27年3月27日に「道德」にかかわって学習指導要領の一部改正が行われました。本講座では、主に、総則に位置付けられた「道德教育」について、①改訂の経緯と要点、②内容の取扱いに関する共通事項、道德教育推進上の配慮事項などに焦点を当てて理解を深めます。併せて、道德教育と「特別の教科 道德」との関連も考察します。また、高等学校において、学習指導要領の改訂により、新科目「公共」を中心とした道德教育推進の観点から高等学校教員についても対象とします。 | 吉本 恒幸(大学院教職研究科教授) | 6時間 | 平31-90004-300059号 |
| 【選択必修】楽しく学ぶ小学校英語 | 平成31年6月9日 | 小学校 | 英語教育 | 小学校英語の教科化、低年齢化に伴い、教員には学習指導や評価に関する基本的な知識、指導技術及び実践的英語運用能力を身に付けることが求められている。そこで、本講座では、児童と共に楽しみながら指導できる力を身に付けることを目的に、①小学校英語に関する概要や背景となる基礎理論、②重視したい活動や文字指導、絵本の扱い方、③英語運用能力の効果的な学び方、等についてワークショップやDVD・電子黒板等を活用しながら授業を進める。 | 一ノ瀬 喜子(児童学部教授) | 6時間 | 平31-90004-300060号 |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|------------|------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------|-----|-------------------|
| 【選択必修】子どものための教育相談 | 平成31年6月9日 | 幼稚園 | 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。) | 教育相談とは、一人ひとりの幼児の成長と個性的適応を手助けすることを目的とし、幼児の感じ方や考え方に近づいて、問題の解決と自律への援助を個別的に対応するものと考えられます。今回の授業では、教育相談の体制作りや、幼児が気持ちを語る環境作りを学びます。そして、登園できない幼児やいじめの事例から理解をします。またクラスを育てる「対人関係ゲーム」や絵本による幼児理解に取り組む予定です。 | 鈴木 由美(児童学部教授) | 6時間 | 平31-90004-300061号 |
| 【選択必修】学校における危機管理 | 平成31年8月16日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題 | 学校における危機管理上の課題について、職種を限定した内容ではなく、学校に勤務するものとしてどのように対応していくべきかを学習します。特に、危機管理が強調されるようになった社会的な背景や関係法規の改正趣旨を踏まえながら、危機管理における重要な点を学習します。 | 金子 英孝(大学院教職研究科教授) | 6時間 | 平31-90004-300064号 |
| 【選択必修】すぐとなりの私、私の中の他人ー異文化理解概論ー | 平成31年8月21日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 国際理解及び異文化理解教育 | グローバル化、異文化理解、多文化共生といった言葉が溢れかえる現代において、文化が多様であり、それらに対して寛容であることはすでに常識です。しかしまた、その「常識」が、ともすれば上辺だけの振る舞いに陥りがちであることは、現代の課題点であると言えます。本講義では、国家、民族、世代、ジェンダーなどの視点から文化の衝突の具体例を取り上げ、概念と共に分析することにより、文化とは何か、そして他者を理解することと教育がどのように関わっているのかを考え、教室における授業運営や指導に活かす方法を考えます。 | 山田 千香子(心理・福祉学部教授) | 6時間 | 平31-90004-300065号 |

| | | | | | | | |
|--|-------------------|--|--|---|--------------------------|------------|--------------------------|
| <p>【選択必修】我が国の教育の情報化の動向と今後のICTを活用した学習指導及び情報教育の在り方</p> | <p>平成31年8月21日</p> | <p>小学校 中学校 高等学校 特別支援学校</p> | <p>教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)</p> | <p>我が国の教育の情報化の動向について、教育の情報化の実態調査結果の分析を通して考察する。次に、全国の学校現場で展開されているICTを活用した学習指導の内、特に、教師がデジタル教科書、電子情報ボード等を用いる授業、及び、児童生徒にタブレット端末を一人一台活用させる授業等に焦点を当て、ICT等を活用した学習指導の在り方について、今後の方向性について検討する。併せて、情報活用能力及び情報モラルを身に付けさせるための情報教育の在り方及びプログラミング教育についても検討する。</p> | <p>南部 昌敏(大学院教職研究科教授)</p> | <p>6時間</p> | <p>平31-90004-300066号</p> |
| <p>【選択必修】児童・生徒のための教育相談</p> | <p>平成31年8月26日</p> | <p>小学校 中学校 高等学校 特別支援学校</p> | <p>教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)</p> | <p>教育相談とは、一人ひとりの児童・生徒の成長と個性的適応を手助けすることを目的とし、児童・生徒の感じ方や考え方に近づいて、問題の解決と自律への援助を個別に対応するものと考えられます。今回の授業では、教育相談の体制作りや、児童・生徒が気持ちを語る環境作りを学びます。そして不登校の種類やいじめの把握を事例から理解します。またクラスを育てる「対人関係ゲーム」や絵本による児童・生徒の理解に取り組む予定です。</p> | <p>鈴木 由美(児童学部教授)</p> | <p>6時間</p> | <p>平31-90004-300067号</p> |
| <p>【選択必修】園における危機管理上の課題、組織的対応の必要性</p> | <p>平成31年6月9日</p> | <p>幼稚園</p> | <p>様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題</p> | <p>学校・園で起こる危機は、教育課程内外での事故、感染症被害、虐待、保育者同士のトラブル、自然災害等、多岐にわたる。危機はいつでも、どこでも、どの園においても起こり得ることであり、教職員の意識の向上が求められている。そこで、各園における安全教育の在り方について理解を深め、危機管理上の課題を明確にし、組織的に対応するための具体的な方策について学びます。</p> | <p>重安 智子(児童学部教授)</p> | <p>6時間</p> | <p>平31-90004-300062号</p> |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|------------|-----|--------------------------------------|---|-------------------|-----|-------------------|
| 【選択必修】学校、家庭並びに地域の連携及び協働 | 平成31年6月9日 | 幼稚園 | 学校、家庭及び地域の連携及び協働 | まず、教員としてどう自己開発をし、組織内の人間としてどのように連携・協働すればよいかを考える。次に、「幼稚園と小学校との連携、保護者・地域との連携・協働の必要性や具体的な方法」を学んでいく。また、近年の文部科学省の教育改革の中で、どのような改革が求められているかを学ぶ。さらに、実際の連携の事例から、地域との連携・小学校との連携の方法と課題を考えていく。 | 古川 寿子(大学院教職研究科教授) | 6時間 | 平31-90004-300063号 |
| 【選択必修】学校、家庭並びに地域の連携及び協働 | 平成31年8月16日 | 幼稚園 | 学校、家庭及び地域の連携及び協働 | まず、教員としてどう自己開発をし、組織内の人間としてどのように連携・協働すればよいかを考える。次に、「幼稚園と小学校との連携、保護者・地域との連携・協働の必要性や具体的な方法」を学んでいく。また、近年の文部科学省の教育改革の中で、どのような改革が求められているかを学ぶ。さらに、実際の連携の事例から、地域との連携・小学校との連携の方法と課題を考えていく。 | 古川 寿子(大学院教職研究科教授) | 6時間 | 平31-90004-300069号 |
| 【選択必修】幼稚園教育要領等の改訂の理解 | 平成31年8月26日 | 幼稚園 | 学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等 | 現在、情報化・国際化の進展に伴い、子どもを取り巻く社会が変化してきている。講習では、①各園の子どもの現状と課題を探る、②生きる力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について考える、③幼稚園教育要領の改訂内容を理解する、④保幼小の円滑な接続の在り方を考える。以上を中心に、グループワークを交えて行う。 | 篠原 孝子(兼任講師) | 6時間 | 平31-90004-300068号 |
| 【選択必修】園における危機管理上の課題、組織的対応の必要性 | 平成31年8月27日 | 幼稚園 | 様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題 | 学校・園で起こる危機は、教育課程内外での事故、感染症被害、虐待、保育者同士のトラブル、自然災害等、多岐にわたる。危機はいつでも、どこでも、どの園においても起こり得ることであり、教職員の意識の向上が求められている。そこで、各園における安全教育の在り方について理解を深め、危機管理上の課題を明確にし、組織的に対応するための具体的な方策について学びます。 | 重安 智子(児童学部教授) | 6時間 | 平31-90004-300070号 |